

2023年度

幕末京焼の作風展開と古典研究の様相

霊樹寺釈迦如来坐像について

文化財保存と修理からみる活用の在り方

小早川隆景の領国について

インクルーシブなミュージアムの構築に向けて

猪目形について

文化財学的視点に基づく鉄炮の再評価

出土金属製文化財における保存処理後の保管について

竹内街道の研究

壬申の乱と東国

新しい文化財活用の模索

毛利氏と安芸宍戸氏の同盟

上野地域の舟形石棺地域圏

文化財のカビ被害とその抑制について

日本の仮面劇と来訪神行事

和紙の歴史と活用について

古代出雲地域周辺における鉄鍬についての研究

古墳壁画の思想

八朔の馬出しの保存

島根県内における土製支脚の研究

文化財の継承における日本とイタリアの仕組み

快慶様式の変遷とその要因

藤原鎌足墓に関する一考察

日本古代音楽史の研究

石棺からみる宮崎県南方古墳群

法華寺南遺跡の石刃調整技術

河内の弥生時代遺跡について

光琳蒔絵の図様と造形

刀剣と神仏

帆立貝式古墳の地域性

西教寺所蔵「妙法蓮華経」の書体について

像内納入品とその意義についての考察

盾形埴輪の研究

妖怪表現にみる怪異観とその展開

古墳時代における関東の玉作研究

護法神像と修験者円空について

紅型デザインの地域的多様性

弥生時代後期の土器

東北地方における屈折像土偶について

西田中・内山瓦窯出土瓦の変遷

伝統的な漆喰を用いた土壁製作技術の継承について

戦前における学問の自由

キリシタン大名高山右近と高槻

仙台城築城期における変遷

社寺建造物の変遷から見る現代における神社建築のあり方

近世城郭の活用の現状と課題

都と寺社勢力の関係性

戦国期山口における高嶺城の重要性

新沢千塚古墳群について

粟田口派の短刀について

九州地方と関東地方の装飾古墳の関係性

木造建築物の虫害とその対策

江戸・明治期における紙資料の料紙分析

古代都城の井戸研究

大阪府出土の装飾付須恵器について

海会寺造宮氏族の研究

市川下流域の古墳について

地域文化の継承における課題とこれから

秀吉の城における城郭構造の比較研究

藤堂高虎の石垣構築の変遷

城郭の保存・活用の比較及び検討

藤原頼長の男色と主従関係

神仏融合の諸相とその表現

歌川広重の遠近法について

パブリック・アーケオロジーの観点から見る史跡整備

奈良県内の五輪塔の編年

博物館の人骨展示と向き合う

水中出土遺物の劣化とその保存・活用

根来衆における和泉国の出城構築

文化財の複製とその可能性

地域の文化財防災の課題とハザードマップの活用

奈良町の歴史的な町並みの保存を考える

自然災害による城郭被災石垣の修復と活用

南都における平安時代板光背文様の比較研究

古代王権による隼人の認識

古墳時代の弓

古墳時代前期における鉄製甲冑

小型瓦の研究

古代王権の研究

チャシの活用

器財埴輪の変遷と樹立の意義

文化財に使用される国産漆について

直弧文について

今朝平タイプ土偶の文様と展開

近畿地方と関東地方における前方後円墳の歴史的意義について

姫路城の防御力

纏向遺跡と初期大和王権の繋がり

地域文化財のより良い保存を地域の方々と共に目指して

垂飾付耳飾について

祭祀遺跡の研究

日本料理の変遷

伝統技術の継承に向けた課題と展望

文化財の活用に伴う周辺環境の変化及びその対策

文化財の保存と修復における合成樹脂の使用と活用の再検討

沈没船を守れ！

法隆寺金堂壁画の植物文様について

兵庫県姫路市英賀神社源平合戦図絵馬に関する科学調査

災害に関する資料を活用した被災記憶の継承

制度・組織・活動状況から見る文化財防災

三輪山祭祀の転換点について

中世の鷹狩

博物館におけるリスク対策について

仿製四獣鏡の研究

日本刀の仏教刀身彫刻の発生について

参詣曼荼羅と信仰

岐阜城跡の研究

2022年度

伝統的建築物を活用したまちづくり

多角方墳の研究

よさこい祭りとYOSAKOIソーラン祭の比較

飛鳥の文字瓦

東大寺不空羂索観音像と宝冠について

正倉院宝物の伝来史

今日の美術館に求められる成長戦略

地方自治体における文化財の現状と展望

文化財の獣害被害とその組織的な対策

「東京名所図」と写真の相関関係

IPMを意識した文化財害虫・カビの防除

古代地方官衙の研究

弥生絵画の研究

太鼓の文化誌

中部地方のト骨

博物館的視点から見た水族館の現状と今後

大気汚染による文化財の劣化について

近江地域における7世紀後半から8世紀にかけての土師器甕の様相

装こう修理技術に用いる和紙

飛騨地域における畝状空堀群

引退した鉄道車両の保存について

写真資料の保存と活用

大阪出土の管玉

日本洋風近代建築の保存とその活用およびその展望

史跡高取城跡における石垣の年代

広島の被ばく関連資料についての現状と保存

後・晩期の遮光器土偶からみる縄文文化の地域差

葛飾応為の描く夜景

大和の大型横穴式石室にみられる構築技法の伝播について

水中文化遺産を護る

中世ヨーロッパの服飾について

パチンコ・スロットと国営競技の変移

フォトグラメトリを活用した文化財の計測と情報発信

圀形埴輪について

古代中国の都市

記憶に残す沈没船

博物館における展示と演出に関する考察

大和における中近世の鬼瓦

文化遺産を活かしたまちづくり

縄文人骨の祀りについて

「風信帖」からみる空海の書の特色について

古代山城について

アールヌーヴォー時代の宝飾品について

河後森城の構造

仏像における宋風の受容と展開

小袖から読み取る日本文化

博物館展示における現状と課題

弥生時代の銚頭

飛鳥時代庭園の構造とその源流について

松本城下町のまちづくり

平安時代庭園の研究

年輪年代測定から読みとる気候変動と生活

円筒埴輪から見る渋野丸山古墳

奈良県内における陶棺の蓋部について

岡山県内における弥生時代の土器の編年

石川大浪・孟高兄弟と洋風画

運慶芸術の特質と後世への影響

誉田八幡宮と鞆淵八幡神社の神輿について

京都国際マンガミュージアムの機能性

人物埴輪について

歌川国芳の「流行逢都絵希代稀物」について

津波被災紙資料の保存について

岩橋型石室から見た古墳時代紀伊の様相

時代の変遷による蛙に対する価値観と受容の変化

寺社勢力の城

世界遺産と教育

ネガティブ押型文の系譜と原体製作技法

十二支の拡大と獣頭人身十二支像について

陰陽師の研究

寺社建造物の彩色復原について

新潟県出土石包丁

伝統的建造物の保存

歴史的風土保存地区における文化的景観について

女性救済としての普賢十羅刹女像の信仰について

和田英作と富士山について

讃岐国府跡の整備計画

見返り阿弥陀について

映画を中心に考察する廃墟あるいは不気味な家

日中における文化財制度および政策についての比較

バーレンの描いたエウロパの略奪について

博物館におけるユニバーサルデザインのこれまでと新たな可能性

近世から近代における糸車の意義

元興寺に伝わる八雷神面の健康診断

紙質文化財と文化財害虫について

豊国大明神とその表象

近現代における職業婦人の変容

文化財修復に用いられる古糊について

近畿地方における馬利用の始まりについて

現代美術作品の保存について

鏑木清方の《妖魚》について

YouTubeと文化財の親和性

古代難波地域における土師器の様相

伝統工芸品を支える新たな動き

富岡鉄斎『旧蝦夷風俗図屏風』について

緊縛技術の無形文化財登録

文化財複製の可能性

琵琶湖疎水と近代京都

東北地方における織豊系城郭の受容

手漉き和紙生産の現状と継承に向けた課題

文化財の複製を活用した学校教育

ジェンダー視点から見たプロレタリア美術

奈良時代後期における官大寺造瓦組織に関する研究

縄文時代における動物利用

被災した刀剣の価値と保存

ベンチャースポーツ「キャップ野球」の普及における課題

畿内地域における石包丁の流通

学校に残る洋紙資料の酸性度調査

大阪市の装飾須恵器について

絵巻物に描かれた摩竭魚

本能寺の変の再検討

2021年度

水中遺跡について

兵庫県姫路市英賀神社大絵馬の調査

伝統的建造物による文化的景観の保存

人骨の保存と活用

奈良時代の十一面観音造像と東大寺修二会

近代建築物の材質の違いから分かる地域性

愛知県における人面文の研究

古事記・日本書紀で伝承された刀剣

出雲の玉造り

子持ち勾玉の研究

文化財の戦時疎開

大阪府の紡鐘車

六道絵について

高取町の古墳に見る豪族の勢力範囲の考察

近世城下町における町割・屋敷割の変遷

文化財の価値基準に関する一考察

中世の遊戯における飲酒の礼儀

上村松園「焰」について－〈凄艶な絵〉を読み解く－

弥生時代の墓制と集落

縄文時代のマメ類の研究について

近長谷寺十一面観音像をめぐる

壇の浦合戦図について

我が国における水中考古学、その発展の長い道のりを少しでも短くするために

墓石の現状と地域性

水被害を受けた文化財の保存

ガンダーラの仏塔について

小林清親の描く浮世絵

河内の弥生墓制

旧土地台帳を用いた水害被害状況の復元

戦争を経験していない私達が考える沖縄の戦争遺跡

奈良県内の寺社における防災設備に関する調査

文化財における3Dデジタル技術の活用

山城地域における布留式土器の研究

白川郷・五箇山の合掌造り集落について

埴仏と仏教展開の関連性

兵庫県内の手焙形土器について

人口過疎地域の文化財の防犯

骨の描かれた浮世絵

弥勒信仰と弥勒像

長野県出土須恵器における生産と流通

古民家の再生

中世ドイツの城－紀元1000年を中心として－

伊藤若冲筆「鳥獣花木図屏風」の異国情緒あふれる動物のモチーフについて

フェルメールの自画像について

松代城下町の水道遺構

立梅用水の可能性

土器からみた弥生時代の人の移動－吉備地域と讃岐地域を中心に－

弥生時代の集落

東北地方における縄文時代の植物利用と痕跡

古代の木造塔心礎

装?における紙の選択

井戸の祭祀について

X線を用いた文化財の材質分析の歴史と進歩

三角縁神獣鏡について

中世の城郭瓦研究

高松松平家博物図譜

ブックキーパー法を用いた戦争資料の保存

木曾諸村と馬

バンクシーとキャラクターからみる社会情勢

京都市伏見区の古墳

村正と妖刀伝説

異風堂々、京を彩るカブキモノ

小室翠雲と『南畫鑑賞』

カラヴァッジョの「ナルキッソス」

きものと女性

縄文時代以降の犬と人間の関わり

妖怪信仰の変移

上野天神祭の楼車幕

〈悲母観音図〉について～変容の考察と解釈～

埋葬と死生観

日本における笑いの変遷

近代日本の戦争遺跡について

文化財の調査・保存における3Dデータの活用

X線CTを応用した保存科学の研究

自然遺産における鳥獣被害の実態

ゴッホと浮世絵

琉球紅型と型絵染

文化遺産の保存と持続可能なまちづくり

文化財レスキューのこれまでと今後の展望

浮彫五輪塔からみる「やぐら」

郡山城の変遷と城下町の発展

弥生時代 犠牲者の研究

「鳥獣戯画」について

来迎図と奏楽

高地性集落の研究

二条城二の丸庭園の景観

近畿における経塚の研究

兵庫県出土装飾付須恵器集成研究

玉藻前と稲荷信仰

文化財保護の観点から見た地域文化の継承に向けた動き

紡錘車の研究

体験型展示の発展とこれから

土蜘蛛草紙の制作年代について

博物館における生物環境調査

日光輪王寺における生物被害

天然成分がもたらす文化財防虫への効果と影響

博物館の体験型プログラムの多様性とこれから

弥生時代の紡錘車

女房装束について

文化財を活用した町の活性化

埴輪について

錦帯橋の継承

鍋島焼における文様の研究

安土城と天主炎上原因の考察

桐箱とアーカイバル容器に代わる文化財用保存箱について

伊勢神宮の文化的価値について

絵巻にみる建造物

東京・丸の内からみる新たな街並み創り

ギルガメシュ叙事詩の変化

近畿を中心とした緒付円筒埴輪

描かれたアイヌ

百舌鳥・古市古墳群から出土した玉類について

関西から九州への土偶の移動

海底出土の複合遺物の保存

古糊の代用としての古糊様多糖

ディズニー映画論

美人画の成立と評価

奈良県の文化財の保存と活用

自然災害伝承碑の活用と今後の展望について

矢穴の型式分類

須恵器・環状突帯付蓋の研究

鳥獣戯画と動物表現

文化財修理における素材不足についての一考察

金属と有機遺物の保存

迦楼羅像の変遷

米用防虫剤は文化財の防虫に応用できるか

江戸時代の女性化粧

薬師如来と守護神十二神将

妖怪画と歌川国芳

友禅染の技法とデザインの変遷

アルチンボルドとハプスブルク家のエンブレムについて

洋紙が用いられた近代書籍における紙質及び劣化度の年次的推移に関する調査

3Dプリンタを使ったレプリカによる展示効果

百鬼夜行絵巻